



第75号

小山城南高校 PTAだより

〈編集・発行〉栃木県立小山城南高等学校 PTA

〈印刷所〉藤崎印刷株式会社

一年を振り返って

校長 村山 哲也



四月に新入会員をお迎えし、島田会長を中心に新体制となりました。伝統の城南祭は、趣向を凝らした展示や販売も多く、着実に成果を得ることが出来ました。特に、バザーを始め会員の皆様のご協力に改めて深く感謝申し上げます。また研修旅行では、早稲田大学と東京スカイツリーを見学し、卒業生の元気な姿と現代建築の匠の技に触れ、得難い経験をする事が出来ました。更に、百周年を目指して、支部会の試行やエアコンの設置等「一隅を照らす」意欲的な取組が始められたことも特筆したいと思います。

永遠に消えないもの

PTA会長 島田 昌紀



道元禅師曰く、生涯を全うするとき、自分に従いゆくのは自分が生前になした行為、それだけののだと。

城南高が、今日ここにあるまでには、いろいろな道程をたどり、どんなときにもPTAはじめ多くの方々が心を結びあい絶え間ない努力を続けてきた事と思います。

世の中というものは形ではない。結局永遠に消えないものは、城南高を愛するみなさんの心であり、絶え間ないPTA活動だと思っています。一年間御理解、御尽力頂きましてありがとうございます。

スポーツ大会



スポーツ大会



高校生活を振り返って

前生徒会長 梅山 春奈



私が過ごした三年間はとても早くすぎていました。私たち総合学科六期生の合格が決まった平成二十三年三月十一日は東日本大震災に見舞われました。私たちは震災から自己の生き方を見つめ直し、進路実現に向けてひたむきに努力してきました。そのような中でも、三年間の高校生活は楽しく友人や生徒会の仲間たちと充実した毎日を送ることができました。

小山城南高校でのこれらの経験や思い出を胸に私たちは未来に向かって進んで行きたいと思います。

会長になって

生徒会長 立野 享



私が生徒会長に立候補したときの公約は「学校を笑顔で溢れさせる」という事でした。そのためには、生徒会活動に笑顔を取り入れていかなければなりません。その一つが朝の挨拶運動です。挨拶は人間関係の基本です。生徒会役員が笑顔を取り入れて行えば自然と生徒達も笑顔になると考え実行しています。私はこの半年間生徒会長として力不足な所が多々ありました。ですが、生徒、前生徒会役員の方達、先生方の協力があった城南祭を皆で成功させることができました。このような成功を自信に繋げこれからの活動に生かしていきたいです。よろしくお願いします。